

米販売動向調査について(全米販)(令和3年12月分)

1. 調査期間 令和3年12月21日(火)～令和4年1月13日(木)
2. 回答数 66会員
3. 調査結果概要

Q1: 昨年12月と比べた令和3年12月(1か月)の米販売量

「やや減った」、「減った」の回答数が「やや増えた」、「増えた」の回答数を上回っているが、全ての回答が一定数あり、地域・販売先等によってばらつきが見受けられる結果となった。

Q3: 3か月前(令和3年9月)と比べた販売動向

「やや良くなっている」、「良くなっている」の回答数が、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答数を上回り、DI値は「53.4」と上昇。

Q5: 3か月先(令和4年3月頃)の見通し

「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答数が3割近くあるものの、「やや良くなる」、「良くなる」の回答数が3割超、「変わらない」が4割超のため、DI値は「50.0」で均衡。

4. 集計結果

Q1: 昨年12月と比べた令和3年12月(1か月)の米販売量

回答者数(会員)					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
66	11	12	13	13	17
100.0%	16.7%	18.2%	19.7%	19.7%	25.8%

Q3: 3か月前(3年9月)と比べた販売動向

回答者数(会員)					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
66	11	20	12	13	10
100.0%	16.7%	30.3%	18.2%	19.7%	15.2%

DI値
53.4

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
70.5	50.0	50.0

Q5: 3か月先(4年3月頃)の見通し

回答者数(会員)					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
66	1	19	28	15	3
100.0%	1.5%	28.8%	42.4%	22.7%	4.5%

DI値
50.0

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
54.5	50.0	48.4

※企業規模について

規模A: 米穀の売上高が年間100億円以上、規模B: 米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C: 米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1: 現在(3年12月)の米販売量(前年同月との比較)

1. 業務用販売は好調だった反面、昨年巣ごもり需要で伸びていた量販店用販売は伸びなかった。
2. 全国的に豊作だったため縁故米や農家直売が多く、量販店用や家庭用の動きが悪い。
3. 量販店、米穀専門店向けの販売が落ち込んでいる。農家直売やインターネット販売が増えていると思われる。

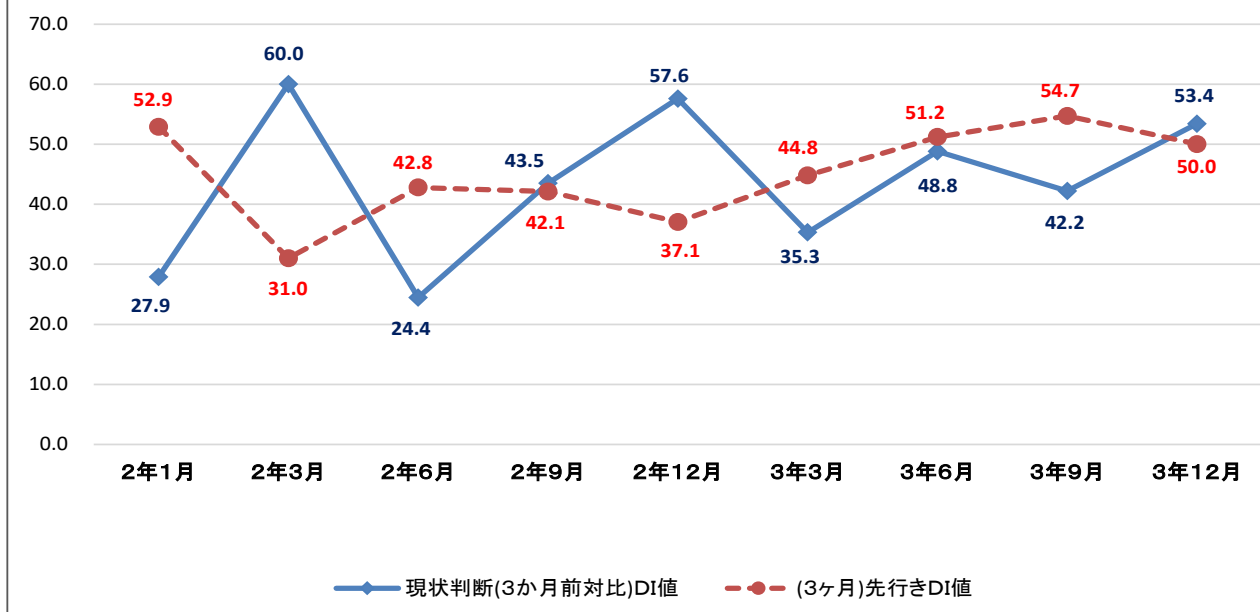
Q3: 過去(3か月前)と現在の動き

1. 3年産が本格的に出回りだしてから、量販店の販売が急激に落ち込んでいるように感じる。
2. 量販店はここ2ヶ月低迷しているが、業務用は回復の兆しがある。
3. 家庭用の落ち込みの穴を埋めきる程ではないが、業務用は回復基調。

Q5: 将来(3か月後)の動き

1. 食品全般が値上がり傾向にあるため、相対的に値上がりしていないお米の需要が増える予想。
2. 農家直売が一段落する影響か、例年3月・4月頃から家庭用精米の販売が増える傾向にある為、回復を期待。
3. 家庭用は良くなると思うが、業務用がコロナの影響で落ち込むことが予想され、トータルではプラスマイナスゼロ。
4. オミクロン株の感染が拡大しているが、これ以上の行動制限は外食店にとって致命的となる。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年12月と比べた令和3年12月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	4.7	11.6	30.2	20.9	32.6
中小スーパー	100%	4.8	19.4	21.0	27.4	27.4
米穀専門店	100%	0.0	8.6	31.0	27.6	32.8
その他	100%	10.9	8.7	32.6	19.6	28.3
(外食産業向け)						
外食向け	100%	12.3	35.1	22.8	21.1	8.8
中食向け	100%	4.7	28.1	43.8	15.6	7.8
給食向け	100%	1.6	14.3	68.3	9.5	6.3

Q4：3か月前（令和3年9月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	4.4	13.3	35.6	24.4	22.2	38.3
中小スーパー	100%	4.8	16.1	24.2	35.5	19.4	37.9
米穀専門店	100%	1.7	10.3	43.1	27.6	17.2	37.9
その他	100%	2.1	14.9	40.4	23.4	19.1	39.4
(外食産業向け)							
外食向け	100%	8.8	45.6	29.8	12.3	3.5	61.0
中食向け	100%	4.8	35.5	41.9	14.5	3.2	56.0
給食向け	100%	1.6	17.5	71.4	6.3	3.2	52.0

Q6：3か月先（令和4年3月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	4.7	25.6	51.2	16.3	2.3	53.5
中小スーパー	100%	0.0	27.4	40.3	27.4	4.8	47.6
米穀専門店	100%	0.0	10.3	50.0	25.9	13.8	39.2
その他	100%	0.0	12.5	56.3	20.8	10.4	42.7
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	30.4	41.1	25.0	3.6	49.6
中食向け	100%	0.0	27.4	54.8	12.9	4.8	51.2
給食向け	100%	1.6	9.4	78.1	9.4	1.6	50.0

*DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				